

明石高専 同窓会通信 第4号

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3
明石工業高等専門学校・同窓会
TEL・FAX (078)946-6186

目 次

同窓会について（雑感）	澤田 俊郎	1
明石高専の近況（教務関係）	竜子 雅俊	2
[母校の近況など]		2
なつかしの恩師より	宮下 純一、坂井 渉	3
第5回同窓会を終えて		
	永井 清彦	4,5
明石高専建築会	八木 雅夫	6
[事務局からのお知らせ]		6

同窓会について（雑感）

土木工学科3回卒 澤田 俊郎

激動の年2003年を迎え、我々技術屋にとってもまだまだ冬の時代が続き、明るい明日が見えてこない今日この頃ですが、同窓会会員各位におかれましては、日々ご活躍のことと拝察いたします。

私は土木工学科（現都市システム工学科）3期生（昭和44年卒業）の澤田でございます。同窓会会長という重責を与えられ、私の様な若輩者にとって、皆様の期待に応える様なことが出来るかどうか自信はございませんが、精一杯頑張りたいと思っております。

さて、私は昭和46年から2年弱、助手（文部教官）として明石高専に勤務していたこともあり、同窓会活動には何らかの形で参加して参りましたが、特に最近の同窓会の在り方については危機感を抱いております。

同窓会とは何かということを整理することにより、世代を越え、我々団塊の世代から卒業されたばかりの世代まで、誰もが気楽に参加し、活動できる同窓会を創っていきたいと考えてい

ます。

そこで、今、一番整理しなければいけないことは、同窓会名簿の在り方と発行方法について検討を進めることと考えています。今までの発行方法（無料送付）を継続すれば、同窓会会計がバンクするのは時間の問題であり、有料送付を検討する等の善後策を検討する次期にきていると思っています。

この作業と並行して、同窓会会費の徴収方法についても再検討の時期にきていると思っています。終身会員制を導入していることで、今後の会費徴収の伸びが見込めないのは明らかであり、同窓会活動に支障をきたす日々が近づいてきており、この問題についても早急な検討が必要であると考えています。

このような課題を考えれば頭が痛くなりますが、同窓会役員、教職員の皆様のご協力をいただき、課題解決に微力ながら努力してまいりたいと思いますので、会員諸兄のご協力をお願いいたします。

明石高専の近況（教務関係）

副校長（教務主事） 電子 雅俊

卒業生の皆様にはお元気でご活躍のこと存じます。本校も40周年を迎えましたが、高専を取り巻く厳しい社会情勢の中、以下のように鋭意教育の改革に取り組んでおります。

1. 授業時間

平成13年度後期より長年の50分・100分から90分に。8時限が16時に終了。放課後に全教官週2回のオフィスアワーを設定し、補充指導、個別指導などの時間として活用。

2. 成績評価規程(進級規程)の改定

《旧規程》 必要全科目の平均が65点以上あれば50点台が4教科9単位まで進級。進級すれば全科目合格として取り扱われる。

《新規程》 必要全科目の平均が65点以上あれば50点台が累積4教科9単位まで進級。進級しても50点台の科目は不合格のまま残る。次年度以降に補充履修を受けて合格すれば60点。不合格科目を残すと次の学年末の4科目9単位の中に算入される。卒業には一般科目75、専門科目82単位以上を含む167単位以上が必要。

3. 神戸大学工学部と単位互換協定調印

有力数紙が報道。平成14年度より5年生と専

攻科生を対象に講義系専門科目で実施。

4. 英語に外部試験導入

4年生全員と3年生、5年生、専攻科生の希望者に対してTOEICを実施。卒業までに（個人的受験を含め）400点以上取れば2単位認定。

5. 第二外国語に中国語登場

開校以来ドイツ語のみの必修であったが、平成15年度よりドイツ語か中国語の選択に。

6. 他学科科目も選択可能に

平成15年度より5年生では他学科の科目も履修でき、4単位までは卒業単位として認定。

7. 低学年科目の変更

体育では剣道廃止（柔道は残る）。音楽・美術は1年生でどちらか一方を選択して受講。

8. 創立40周年記念行事

平成14年10月15日(火)明石市民会館で記念教養行事。河合隼雄文化庁長官の講演と神戸市消防音楽隊の演奏、そして全員で学生歌。

9. JABEE（日本技術者教育認定制度）

平成15年度の受審を目指して総力で準備中。

母校の近況など

(1) 退 官 平成14年 平野 正夫(一般科目), 船引 啓吾(一般科目), 廣田 和男(機械工学科), 吉村 亨(一般科目)

(2) 新 任 平成14年 藤原 誠之(機械工学科), 中川 肇(建築学科), 後藤 太之(一般科目)

(3) 施 設 平成14年 機械建築棟が改修された。

(4) その他 平成14年 第2回レスキューロボットコンテストに出場し、以下の成績を収めた。
・レスキュー工学大賞（レスキューロボットコンテスト計測自動制御学会賞）
・ベストロボット賞（レスキューロボットコンテスト日本ロボット学会賞）
[指導教官：前田 良昭（機械工学科）]
学生：本間 義規、松田 好成、通村 富茂（専攻科・機械電子システム工学専攻2年）、
新妻 翔、濱口 明宏（専攻科・機械電子システム工学専攻1年）、
田村 良治、西明ゆう子（機械工学科5年）]

なつかしの恩師より

慌ただしい毎日

名誉教授(機械工学科) 宮下 純一

明石高専同窓会の皆様お久しぶりです。各方面で御活躍の様子を伺い嬉しく思っています。私達も先生方の同窓会として平成2年から明石高専教官OB会を発足させ、現在会員30数名毎年5月に総会兼懇親会を開催し、出席は毎回20名を越え、楽しく親交を深めています。

私は定年退職後14年、その間手術入院3回(胃、十二指腸、大腸)を経験しましたが、幸い初期発見のため経過は順調で元気に毎日を過ごしています。機械のことは全く離れ、謡曲、寺巡り(朱印集め)、ゴルフ等の趣味のほか、付き合いで週一回のグランドゴルフ、ダンス、太極拳のサークルにも顔を出し、結構忙しく生活をしています。高齢化してきた町内のため設立した高年クラブのお世話をしているのも趣味の一つといえるかも知れません。昨秋の明石市高年クラブ連合会主催のグランドゴルフ大会で全市78チーム(1チーム6名)のうちで私が選手で出場した高丘東チームが見事優勝し、金メダルを首にかけてもらい、写真入りで連合会ニュースに報道されたのは嬉しい思い出です。

これだけでもかなり多忙なのに昨年の自治会役員の改選で、町内のある事情があり自治会長を引き受けざるを得なくなりました。それだけなら兎も角、待ち構えていたように17自治会で構成される高丘地区連合自治会の副会長に押し出され、さらに7地区で構成される大久保町連合自治会の副会長に高丘地区代表として出さされてしまいました。おかげで、高丘の方では盆踊りの責任者や秋祭りの子供御輿の先導、又暮れの歳末パトロールのリーダー、スポーツ大会の運営等、大久保町の方では、秋の連合文化祭の作品展部の責任者、暮れには町出身の9名の市会議員との意見交換等、数々の初体験をしました。そしてこれらの行事に全面的に携わるにより、一つの行事を行うにしても多くの人が多くの時間と労力をかけて準備し、又後始末も大変な作業だなと改めて教えられました。

それにしても、高年クラブや町内の自治会も含めそれぞれの会の会議や行事に振り回され、落ち着いた自分の時間を持てないことが辛いのです。何とか超多忙の元となった町内の自治会長から逃げ出せないかと思えばぐねる毎日です。

道なお遠く

名誉教授(一般科目、物理) 坂井 渉

思い起せば明石高専の創立に参加させて貰い、又初代の寮務主事という思いも設けぬ難事を引き受けた時、北村幸司先生というこの上ない良き人に助けられ、また多くの教職員の方々、寮生諸君の協力を得たことを深い感謝とともに思い出す次第です。当時、大いに諸君の素晴らしさをPRもしたことを、誇らしくも懐かしく思い出されます。

退職後は共に高専で過ごした諸君の卒業式には皆勤させて貰い、喜ばしい時を共有しました。しばらく時々高専に行き、今度はご迷惑と思いつつも色々教えて頂く立場となり、特に以前私の方が教えた諸君に逆に色々親切に教えられることも多く、教師冥利につける思いをしました。

さて近況としましては、人並の悠々自適の生活が羨ましいのですが、十代の頃まで学問嫌いであったのが敗戦のショックか、又は日頃可愛がって貰っていた祖母の家系が、倒幕の運動で惨殺された土佐の藩校の学者だったと聴かされたせい(ちなみに我が家の本家の曾祖父の長女は寺田寅彦の最初の夫人で二十才で夭折)、手に負えない学問にのめりこんでしまい、今も月に2回、1週間位泊り込みで大型計算機と格闘しています。夜10時から12時頃宿舎に返り、コップ一杯のウイスキーか焼酎のお湯割りの甘露の味に満喫しています。宿舎には、違和感無く各国の人が泊っていて、冷蔵庫の奥深く大切にしまっていた夫人手製のケーキをすすめてくれる米国人の教授あり、又私の住居の指呼の間の墓地に眠る志半ばにこの世を去った湯川博士の助手だった友人のM君そっくりの若い中国人に会い、心打たれる思いがすることもあります。

又日頃思う事として、第1次対戦では、食糧のための肥料製造のテクニックが、毒ガスという悪魔のプレゼントになりました。原爆というこの上ない非人道的な武器が第2次対戦に表れましたが、逆にこれを全人類にとって大切なエネルギー製造(核融合)の手段になることを望む次第です。終わりに、頼もしい卒業生諸君の各方面での御活躍と御多幸を衷心より願ってやみません。

第5回同窓会総会を終えて

実行委員長 電気工学科8回卒 永井 清彦

昨年11月17日（日）、魚住の母校において、晩秋の季節にも拘らず、小春日和の晴天に恵まれ第5回同窓会総会を開催いたしました。

今回の総会は、創立40周年を迎え、また平成16年4月の独立行政法人化を目前に全面改修が終了し、変わりゆく明石高専を見学していただくため、母校を会場にしました。卒業生58名、現旧教職員24名の出席をいただき、また開催に当り、ご多忙の中準備の労をとっていただいた実行委員の皆様へ深くお礼申し上げます。

ここに、その時の様子を簡単に紹介させていただきます。

総会開催に先立ち、午後1時過ぎから希望者を2班に分けて、校内施設を見学しました。テクノセンター、情報処理教育センター、IT化された教室など、一桁回次卒業生の私にとって、大変驚異でした。

午後2時から、一般科目本館の西端に隣接した階段教室において、総会が開催されました。

総会は、太刀川さん（10A）の司会で始まり、議長に藤原さん（1M）を選出し、現会長の岩佐さん（3E）、次期会長の澤田さん（3C）の挨拶があり、澤田さんより会員約4600名を擁する同窓会の財政運営を緊縮健全化するという抱

負、方針が述べられました。名誉会長である行田校長からは、独立行政法人化に向けた今後の明石高専の展望についてお言葉をいただきました。

引続いて、午後3時から、同校電気情報工学科教授の中尾先生による『「TLOひょうご」ライセンス1号案件の技術移転談』という演題で講演会が開催されました。先生の考案されたゆらぎ理論を応用して、（株）チュウオーで商品化された磁気振動温熱治療器を題材に、ライセンス供与に関する仕組みについてのお話で、大変有意義でした。

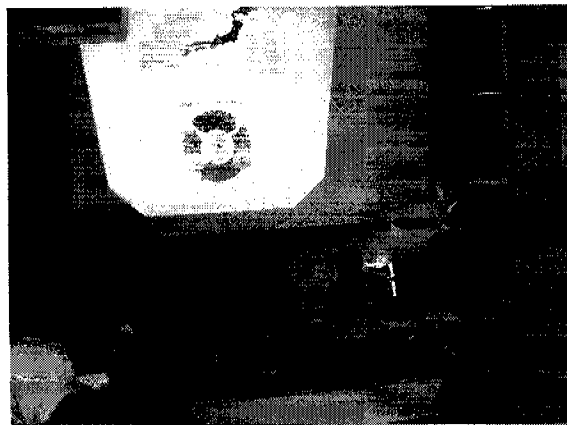
午後4時から、武道館を特設会場にして、立食形式の懇親会が、柳井さん（9A）の司会進行、百石さん（8C）の挨拶で開催されました。来賓を代表して、宮下先生（機械）の乾杯の音頭で宴は始まり、学科毎のステージでの一言挨拶、記念撮影、学生歌斉唱と続き、約二時間の懇親会は、大盛況の内に幕となりました。

私事になりますが、退官された電気工学科の野々瀬先生、体育の平野先生にお会いでき、大変懐かしく思いました。

今後も、明石高専同窓会が、益々発展する様会員皆様のご支援、ご協力をお願いします。



実行委員長 永井 清彦 氏



中尾 隆彦 教授の特別講演



懇親会風景



学生歌斉唱



機械工学科 会員・特別会員



電気、電気情報工学科 会員・特別会員



土木、都市システム工学科 会員・特別会員



建築学科、一般科目 会員・特別会員

同窓会役員（平成15年4月～）

会 長 澤田 俊郎（土木3回）

副 会 長 林 年明（機械3回）、稲田 正三（電気2回）、合田 俊博（土木4回）、宮脇 正博（建築1回）
（常任理事）

副 会 長 秋山 和男（機械6回）、長田 芳成（電気11回）、笹岡 正幸（土木9回）、柳井 理広（建築9回）

常任理事 津島美貴男（機械11回）、泉 昌秀（電気8回）、泉 佳孝（土木31回）、宗行 貴佳（建築10回）

明石高専建築会**建築学科8回卒 八木 雅夫**

明石高専建築会は、1991年春に誕生した建築学科の同窓会です。建築学科の第1期生が卒業したのが1971年ですから、第1期生が卒業後20年を経てようやく誕生したことになります。松井克俊先生にご指導をいただきながら、大阪近郊の卒業生が中心となり約1年の期間をかけて組織発足の準備をおこない、藤原勉先生の退官祝賀会に併せて設立総会を開催しました。以来約12年が経過していますが、今なお、模索の続く組織といえます。最近は諸条件が整わず、2年ごとの総会を開催するのが精一杯で活性化しているとはいいがたい面もありますが、これまで、さまざまに意欲的な活動がおこなわれてきました。

中でも、卒業生が担当している建築現場を紹介する見学会は好評で、専門分野での情報交流の機会として、卒業生が集まるきっかけとして非常に有効です。神戸のハーバーランド完成前の見学会は4年生の学外授業とも組み合わせられ、在学生が現場を知るための有効な教育機会になりました。また、建築会の主催でこれまで2回開催された「建築学科教育懇談会」は、非常勤講

師の先生方、OB教官、現教官、卒業生が集う場で、卒業後の経験談を通じて教育内容へのフィードバックをおこなう貴重な機会であり、卒業生にとっては実業界で活躍する非常勤講師の先生方との出会いの場になっています。

ただ、こうした企画が意義深いことはよく理解されているのですが、連絡先のわかる建築学科卒業生が1000人程度となっている現在、開催案内を郵便にたよると多くの費用を要する割には参加者数が少なく非効率であり、会の財政もついていけなくなりつつあります。そこで、建築会ではIT活用を試み、役員間ではメールによる連絡を徹底させ、建築学科のホームページからリンクした建築会のページでは掲示板を設け、情報発信できるようにしています。徹底した連絡手段とはいえませんが、企業からの中途採用情報などが掲載されるとそれなりに反応があるなど、徐々に定着のきざしがあります。

建築会が卒業生、在学生にとってより身近な組織となり、有効に活用されますように、今後ともご協力ご支援をお願いします。

事務局からのお知らせ

- (1) **会費の納入について** 会費未納分がある方は、会員名簿に綴じ込んでいる振り込み用紙を利用して、ご納入下さい。
- (2) **住所変更等の連絡について** 住所などの変更がございましたら、お手数ですが名簿に綴じ込みのハガキあるいはファックスにて下記の同窓会の事務局の方へご連絡下さい。
- (3) **原稿募集** 同窓会通信の原稿を募集しています。同期で同窓会を開催した。同窓会への注文。近況報告等。なんでも結構です。下記、事務局宛にお願いします。

同窓会事務局の電話、FAXを設置しています。不急の連絡は以下の窓口へお願いします。
なお、留守番電話とFAXの処理は1週間毎に行いますので、緊急の連絡は在校の幹事までお願いいたします。

[同窓会事務局]

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

TEL・FAX 078-946-6186

[在校幹事]

友久誠司(土木4回)

國峰寛司(機械16回)

藤原誠之(機械25回)

八木雅夫(建築8回)

江口忠臣(機械20回)